

健康寿命の延伸を目指す 福岡県の取組みについて



福岡県

福岡県民の健康と生活習慣の現状

健診受診

○特定健診実施率(H27)

45.3%(全国50.1%、目標70%以上)

○がん検診受診率(H28)

胃がん 38.2%(全国40.9%、目標50%以上)

肺がん 40.9%(全国46.2%、目標50%以上)

大腸がん 36.4%(全国41.4%、目標50%以上)

食生活

○1日当たりの平均塩分摂取量(H28)

男性 10.9g(全国10.8g、目標9g)

女性 9.3g(全国9.2g、目標7.5g)

運動習慣

○運動習慣者の割合(H28)

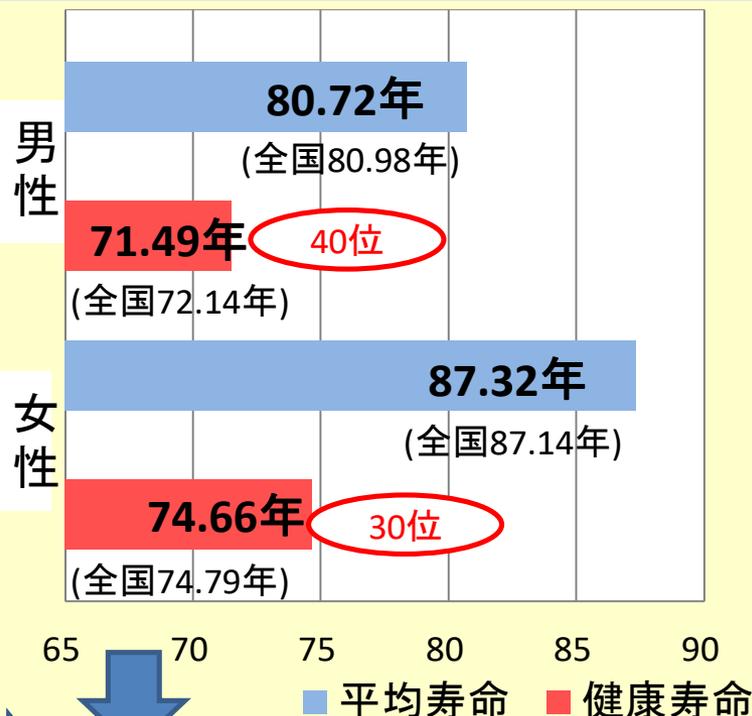
男性(20~64歳) 21.7%
(全国23.9%、目標36.0%)

(65歳以上) 41.0%
(全国46.5%、目標58.0%)

○1日当たり歩数の平均値(H28)

男性(20~64歳) 7,699歩
(全国7,769歩、目標9,000歩)

平均寿命と健康寿命(平成28年福岡県)



県民一人ひとりに健康づくりの取組みが浸透していない。

- 社会全体として、県民一人ひとりが改めて自らの健康について考え、具体的な健康づくりの取組みを行っていくことが必要。
- 国、県、市町村が、それぞれの役割を分担し、総合的に取り組んでいくことが重要。

※目標は県健康増進計画によるもので、目標年度はH34年度

ふくおか健康づくり県民運動

ふくおか健康づくり県民会議

(H30.8.10設置)

会長 福岡県知事
副会長 福岡県医師会会長
福岡県商工会議所
連合会会長
九州大学総長
福岡県保険者協議
会会長

取組みの3つの柱

①健(検)診受診率の向上

・特定健診、がん検診の受診率向上

②食生活の改善

・食塩・野菜摂取量の適正化など

③運動習慣の定着

・歩数の増加
・スポーツの推進など

構成員：以下の団体の代表者（110名）

保健・医療関係団体、経済団体、企業、労働組合、大学、マスコミ、地域団体、国、県、市町村等

取組み内容を宣言

健康づくり団体
・事業所宣言

優良団体を表彰

優良事例掲載

各団体の情報を集約

県民運動情報発信
サイト

一体的に発信

健康寿命の延伸を目指す福岡県の取組み

「70歳現役社会」づくり

70歳現役社会とは

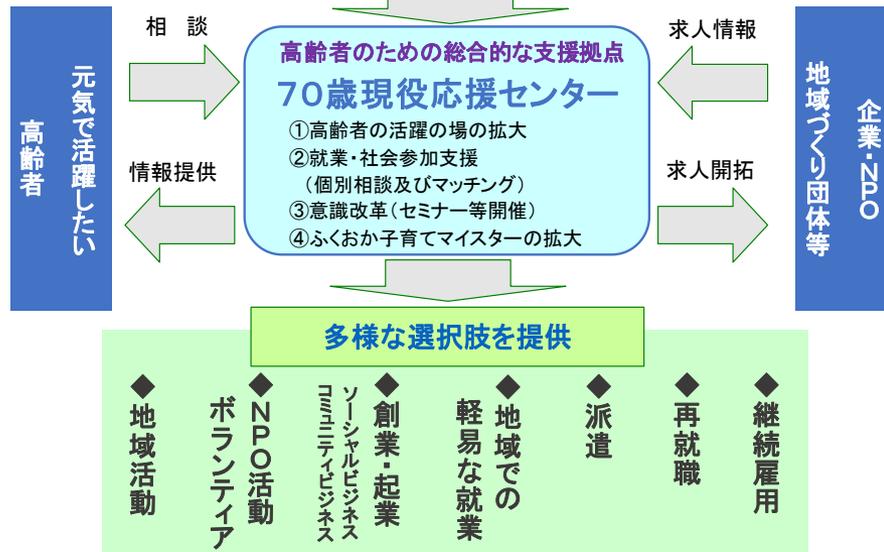
年齢にかかわらず、それぞれの意思と能力に応じて、働いたり、NPO・ボランティア活動等に参加し、活躍し続けることができる、選択肢の多い社会

官民一体となった推進体制と総合支援拠点「70歳現役応援センター」

- ・H23年9月 プラットホームとなる「**福岡県70歳現役社会推進協議会**」を設立
- ・総合支援拠点「**福岡県70歳現役応援センター**」を開設

福岡県70歳現役社会推進協議会

構成：経済団体、労働者団体、NPO団体、行政機関など18団体



平成30年7月末時点までの実績

- 利用登録者 14,472人
- 進路決定者 6,929人(6年間延べ)
- 高い進路決定率 登録者の5割強(H29年度)



▲相談員による丁寧な聞き取り



▲連日多くの来場者

健康寿命の延伸を目指す福岡県の取組み

ひさやま元気予報^ニ について

(フリーアクセス版: 9月公開予定)

久山町研究とは

九州大学と久山町が協力して行っている住民を対象とした長期(50年以上)にわたる疫学調査

データ入力画面

ひさやま元気予報^ニ

トップ データ入力 シミュレーション

入力内容をクリアする

下記項目をご入力ください。40歳未満の方でもご利用いただけますが、シミュレーション時には入力した年齢として評価されます。

性別 男性 女性

年齢 ※年齢を入力してください

身長 173.5 cm 体重 75 kg

BMI 28.4 kg/m² ※身長と体重から自動算出されます。

腰囲 95.1 cm

収縮期血圧 (mmHg) ~129 130~139 140~

高血圧 なし あり

HbA1c (%) ~6.5 6.6~6.4 6.5~

空腹時血糖 (mg/dL) ~99 100~109 110~125 126~

HDLコレステロール (mg/dL) 40以上 40未満

LDLコレステロール (mg/dL) ~119 120~139 140~

糖尿病家族歴 なし あり

1日の喫煙本数 なし 1~9本 10本

運動習慣 なし あり

シミュレーションする

年齢、
体重、
血圧、
血糖値
などを
入力

発症リスク表示画面



発症リスクを天気予報
の形で表示。

体重を減らすなど改善を
行った場合のシミュレ
ーションができる。

健康づくりに取り組むきっかけ提供

健康寿命の延伸を目指す福岡県の取組み

ロコモティブシンドローム（※1）の予防

県が養成した「ロコモ予防推進員」によるロコモに関する正しい知識の普及とロコトレ（※2）の実演。

※1 運動器の障害のために、立つ、歩く等の移動能力の低下をきたし、要介護になる危険の高い状態。 ※2 ロコモティブシンドロームを予防するための運動



（ロコトレ実演の様子）

糖尿病性腎症重症化予防の推進

「福岡県糖尿病性腎症重症化予防プログラム」に基づき、医療関係者、医療保険者等が連携した取組みを全60市町村で推進。



（世界糖尿病デー：太宰府天満宮フルライトアップ）

「スポーツ立県福岡」と一体となった健康づくりの推進

スポーツをてこに県民生活をより豊かに、より元気にする「スポーツ立県福岡」を目指し、健康づくりにも資する様々なスポーツプログラムなどを提供。



（医師と歩こう、県民健康ウォーク）

■ 「地方」発の新しい長寿社会を全国へ

「高齢化」の現場は「地方」。それぞれの「地方」の先行事例や優良事例を学び合い、地域と住民ニーズにあった施策を展開し、わが国全体へ拡大させることが必要。

■ アジアにおける高齢社会対応のトップランナーへ

中国や韓国では、わが国以上に急速に少子・高齢化が進展。長寿社会の先進モデルを構築できれば、アジアにおける高齢社会対応のお手本に。